

# 施工ガイド

## セラール バスルーム用

浴室にはセラール バスルーム用をご使用ください。

### 施工前にご確認ください

浴室壁面へのセラールの施工に際し、躯体が断熱構造になっていない場合に、セラール表面に裏面の接着剤位置に結露の跡が出る場合があります。躯体構造に断熱層を設計して頂きますようお願い致します。特に改修の場合は躯体構造にご注意ください。

#### 既存下地に施工する場合

タイル面（浮き・ハガシがなく不陸が5mm未満（目安）の場合に限り）（チェック方法：下記②、右記③参照）

#### 既存下地に施工する場合

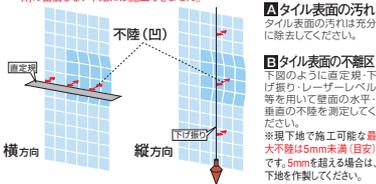
**\*新築浴室の場合も施工方法は同じです。**

- 特製ラワン合板（推奨 12mm以上）〔針葉樹合板は不可〕
  - けい酸カルシウム板（推奨 8mm以上）〔比重1.0〕
  - モルタル（含水率4.5%以下）※ZK-22、ZK-23使用時に限りです。
- ※上記下地の場合、全体に予めプライマー（JW-900N（溶剤系））を全面塗布してください。

#### 施工に適さない地（一部例）

- ALC ●コンクリートブロック ●RC面 ●ユニットバス ●耐水せっこうボードなど

※シート防水、塗膜防水の上への施工、表面・構造強度、耐水強度の弱い下地、接着剤の密着しない下地には施工できません。



### 下地状態のチェック・対処方法



#### 表面タイルの浮きの有無

古いタイル壁面では浮き・剥がれの危険が高いため、左図のように打診検査（金槌でタイル表面を叩きタイルの異常音を音で判断）でタイルの浮きを調べてください。浮いたり剥がれたタイルは以下の方法での補修をお薦めします。

#### エポキシ樹脂モルタルの充填

比較的小規模なタイル剥離については、剥離部分に充填補修用のエポキシ樹脂モルタルを充填してください。

#### アイカ製品

ジョリシール JB-18L（プライマー・タックコート）と JE-9001（専用骨材）

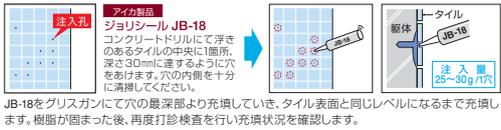
#### モルタルの充填又は全面打設

比較的小規模なタイル剥離から全面タイルはつりの補修まで幅広い対応が可能です。躯体（コンクリート・ブロック）とモルタルとの密着が悪いと剥離の原因になりますので注意してください。

接着強度：1.0N/mm<sup>2</sup>以上

#### ピンニングによる樹脂注入固定

下図のようにエポキシ樹脂等を浮きのあるタイル部分に注入して、浮き部分の剥離・剥落を防止します。



JB-18をグリスガンにて穴の最深部より充填していき、タイル表面と同じレベルになるまで充填します。樹脂が固まった後、再度打診検査を行い充填状況を確認します。

#### 下地作製

タイルと付着強度が良好な薄塗りができるモルタルで不陸調整を行うが、6mm以上のけい酸カルシウム板（比重1.0）または、12mm以上のラワン合板で下地を作製してください。  
※モルタル：含水率4.5%以下・付着強度1.0N/mm<sup>2</sup>・平滑金ゴテ仕上  
※けい酸カルシウム板、ラワン合板：必ず躯体にビス固定してください。  
※下地材をモルタル打設、けい酸カルシウム板、ラワン合板で作製した部分は予めプライマー（アイカ エコエコポンド JW-900N（溶剤系））を全面塗布してください。

#### 安全対策

溶剤系プライマー等を使用する際は、カタログ本体の裏表紙の「安全にご使用いただくために」の次の項目を追加実施ください。  
1 換気には十分注意する。 2 火気及び換気に十分注意する。  
3 皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用する。

#### 加工工具

加工に関する道具は下記をお使いください。但し、ハマカケが起らないように刃物は丸しものをお選びください。

#### 切斷加工 防じん丸ノコ（チップソー・ダイヤモンドソー）

（施工時における切斷用刃物について）  
刃物の規格は「外径」「刃厚」「刃数」よりなっています。「外径」「刃厚」はお手元のハンデソーに合ったものを、「刃数」はできるだけ多いものをご使用ください。

セラール	セラール	※加工工具は集塵機付きのものをご使用ください。
外径	刃数	■ 穴あけ加工
100φ	60P	ドリル（直径12φ以下の場合）、自在刃（直径12φを超える場合）、ホルソー、ジグソー等
125φ	80P	■ 仕上げ サンドペーパー、ヤスリ
165φ	72P	

### 施工の手順



下記はタイル面、モルタル面（不陸5mm未満）の施工手順です。詳しくは施工説明書「バスルーム壁・天井用」を参照ください。けい酸カルシウム板、特製広葉樹合板で下地を新設し、不陸が1mm未満の場合は施工説明書「バスルーム壁・天井用 平滑下地」を参照ください。

#### 1 下地処理



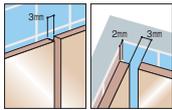
- クリーナー洗浄 → 水洗浄 → 乾拭き 等で施工面を清潔にしてください。
- 左記タイル表面の不陸の測定方法や下図を参考に不陸測定をしてください。測定は縦・横・斜で行ってください。



#### 2 プライマー処理

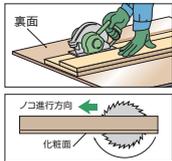
- 下地材をモルタル打設、合板、けい酸カルシウム板で作製した部分は予めプライマー（アイカ エコエコポンド JW-900N（溶剤系））を全面塗布してください。

#### 3 割付け

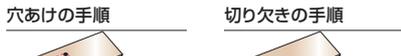


- けい酸カルシウム板で下地作製の場合、下地材の目地と仕上げ材の目地が重ならないように、割付けてください。
- 突きつけ施工はできません。必ず、3mm以上の目地を取ってください。
- ジョイナーで施工する場合にも、必ずクリアランスを取ってください。

#### 4 カット・加工

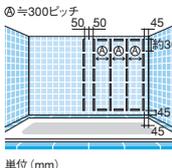


- 切断は当木を用いて、必ず刃物を表面から入れて裏面から出るようにしてください。（表面には保護フィルムが貼ってあります）
- 穴あけ・切り欠きは必ず6R（φ12）以上の刃物を用いて、表面からコーナー部に穴をあけてから行ってください。



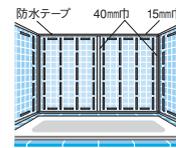
セラールは、図のようにピン角でカットした場合、クラック発生の恐れがありますので、切り欠きではなく、複数枚を使用する割付けしてください。

#### 5 仮留めテープ貼付けによる不陸調整

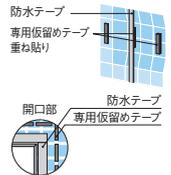


- 貼付タイル面の端部に接着剤を塗布するためのスペース30mmをあけて、仮留めテープを貼付けてください。
  - 貼付面の中央部は仮留めテープが約300mmピッチ（左図）になるようにしてください。
  - 不陸の調整は1mm厚及び3mm厚の仮留めテープを重ねて行います。
- 例) 4mm 不陸：3mm厚+1mm厚

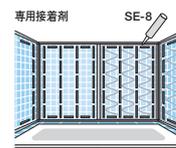
#### 6 防水テープ貼り



- 浴室工法と一般工法の最大の違いが防水テープを併用することです。防水テープが目地切れによる表面からの水の進入に備えます。
- 不陸（凹凸）部分は仮留めテープで調整。配管などの開口部分も周囲を防水テープで囲みます。

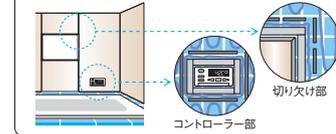


#### 7 接着剤塗布



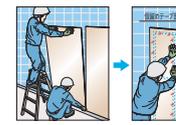
- 接着剤は仮留めテープの厚さより3mm以上の高さになるように塗布してください。
- 貼付タイル面の外周には必ず接着剤を塗布してください。（外周塗布がない場合や、塗布量が少ない場合には、端部の浮きが発生することがあります）
- 切り欠き部分の周囲や機具を取り付ける部分には必ず接着剤を塗布してください。塗布量が少ない場合、クラックが発生しやすくなります。
- 貼付タイル面3×8サイズの面積に対して、専用接着剤アイカエコエコポンド SE-8 4本が目安の塗布量です。塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。（不陸が無い場合）
- 接着剤塗布後10分以内に貼付け圧着してください。

#### コーナー部分等の塗布パターン



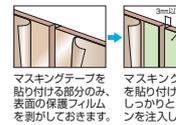
- 凡例：
- セラール（表面）
  - 防水テープ
  - 仮留めテープ
  - 接着剤
  - タイル面

#### 8 貼付け



- 中央部に浮きが発生しないように注意して、仕上げ材を貼付けてください。
- 仮留めテープ部をしっかりと押さえてください。※接着剤部を押さえると泣き割れの恐れがあります。

#### 9 シーリング処理



- ヘラなどを用いて、マスキングテープをしっかりと内側に割ります。
- マスキングテープを貼り付ける部分のみ、表面の保護フィルムを剥がしておきます。
- マスキングテープをマスキングテープを貼付け、奥までしっかりとシリコンを注入します。

#### 10 保護フィルム剥がし

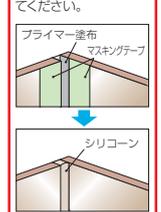
- 2日間以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。

#### 【施工についてのご注意】

- カット面は目の細かいサンドペーパーを当木にそえて軽く糸面取りしてください。
- 目透かしシーリング納めの場合、カットしていない面も軽く糸面取りしてください。

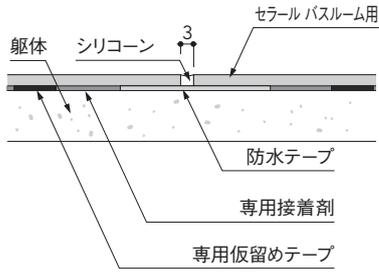


入隅のシーリングについて  
浴室用セラールの表面にはシリコンの密着が悪い為、セラール表面にシリコンを施工する場合は必ずプライマー（JW-900N）を使用してください。



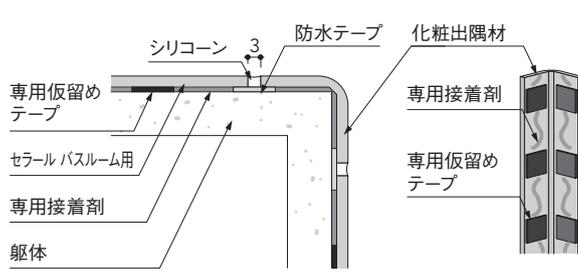
平目地

【シリコン】



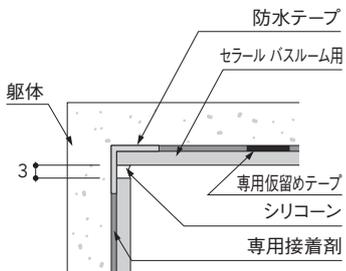
出隅

【化粧出隅材】



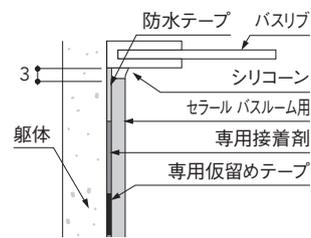
入隅

【シリコン】

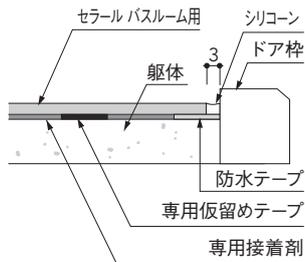


壁 — 天井

【シリコン】



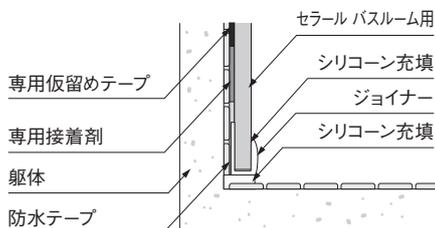
ドア枠廻り



壁 — 床・防水パン

on tile

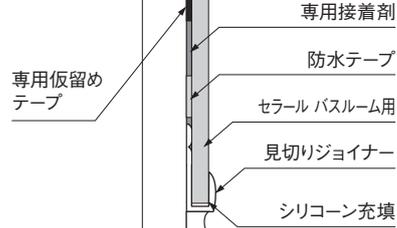
【ジョイナー】



壁 — 床・防水パン

平滑下地用

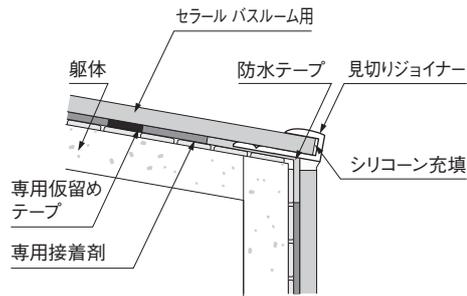
【ジョイナー】



出隅

on tile

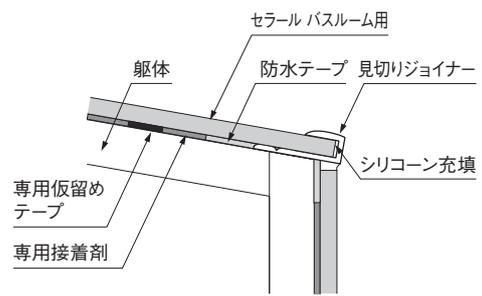
【ジョイナー】



出隅

平滑下地用

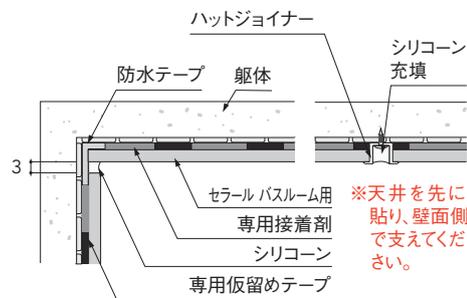
【ジョイナー】



壁 — 天井

on tile

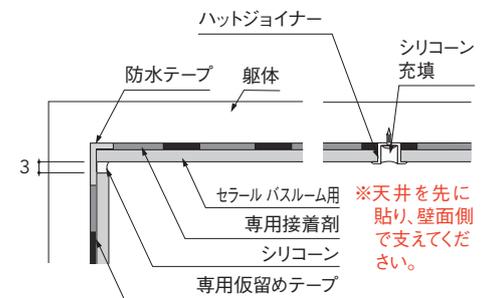
【ジョイナー】



壁 — 天井

平滑下地用

【ジョイナー】



天井施工についてのご注意

下地について

- ① **バスリブへの直接施工はやめてください!** 接着面積、下地強度不足が剥がれの原因となります。
- ② **ALC躯体への直接施工はやめてください!** 下地強度不足が剥がれの原因となります。
- ③ **塗装表面への直接施工はやめてください!** 塗膜剥離が剥がれの原因となります。

十分な強度を持った下地作製、下地表面処理を行い施工してください! 施工可能下地については「製品同梱の施工説明書」を参照ください!

施工方法について

- セラールバスルーム用の重量は5.2kg/m<sup>2</sup>です。
- 落下の危険**がありますので、サイズは3×4尺以下として**ハットジョイナーを必ず用いて**納めてください。
- 防水テープは**下地側**、接着剤・仮留めテープはセラール**裏面側**に塗布してください。